

光陵中学校 第3学年 保護者の皆様へ

伊達市立光陵中学校長 吉川 修一

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査における調査結果について

晩秋の候 保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、さる4月17日（火）に実施いたしました「全国学力・学習状況調査」の調査結果につきまして、本校の分析結果がまとまりましたので、次のとおりお知らせいたします。ただし、本調査は学力の一側面を測るものであり、学力のすべてを評価しているものではございません。その点をご留意いただき、ご覧ください。

なお、学校では、今回の分析結果をもとに、受験を控えた3年生の進路指導において、学力向上等につながるよう各教科で授業改善等に努めてまいります。各ご家庭におかれましては、お子様の希望進路実現に向けて、効果的な家庭学習の定着など、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。




## 記

## 1 調査の概要

- (1) 対象生徒 中学校 第3学年  
 (2) 教科 国語科 数学科 理科  
 (3) 質問紙 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

## 2 本校の結果と考察調査内容

## (1) 結果 「全国学力・学習状況調査学力分布」

		本校の結果 (全国との比較)	全国平均 正答率	全道平均 正答率	伊達市平均 正答率	
国語	A		76.1%	77.0%	76.0%	 上回る
	B		61.2%	61.0%	58.0%	 やや上回る
数学	A		66.1%	65.0%	66.0%	 同程度
	B		46.9%	46.0%	46.0%	 やや下回る
理科			66.1%	67.0%	66.0%	 下回る

※ ⇒は、本校の平均正答率と全国の平均正答率の差を表しています。

## (2) 考察

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国語Aは、平均正答率が全国平均と同程度ですが、今回の5教科の中で最も正答率が高く、継続した基礎学習の成果が見られる結果となりました。</li> <li>○国語Bは、平均正答率が全国平均をやや下回り、知識・技能等を活用する力に課題が見られる結果となりました。</li> <li>○国語Aの領域別では、「話すこと・聞くこと」の学習内容の定着が成果として表れている一方で、「伝統的な言語文化等」では、課題が見られる結果となりました。これは、語彙力や語句の正しい理解が不足していることなどが考えられます。</li> <li>○国語Bの領域別では、A問題とは逆に「伝統的な言語文化等」の学習内容の定着が成果として表れましたが、「読むこと」の領域が全国平均との差が最も大きく、「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く」などの力が不足していることが考えられます。</li> </ul>
----	---

<p>数学</p>	<p>○数学Aは、平均正答率が全国平均と同程度でしたが、問題により知識・技能の定着に課題が見られる傾向がありました。</p> <p>○数学Bについても、平均正答率が全国平均と同程度でしたが、国語Bと同様に、知識・技能等を活用力する力に課題が見られる結果となりました。</p> <p>○数学Aの領域別では、「数と式」の学習内容の定着が成果として表れている一方で、「関数」では、全国平均との差が最も大きく、この領域における基礎・基本の未定着や数学的な技能に課題があることが考えられます。</p> <p>○数学Bの領域別においても、「資料の活用」で、全国平均と比べて下回る傾向にあり、A問題でも、同様の傾向があることから、「与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理する」などの力が不足していることが考えられます。</p>
<p>学習生活習慣</p>	<p>○学習意欲・教科の学習 「勉強が好き・大切だと思う」という項目に対して肯定的に感じている生徒の割合は、全国平均とほぼ同程度である一方で、「授業で自分の考えを発表する機会」や「授業で生徒の間で話し合う活動」に対しては、苦手意識を持つ生徒の割合が高い傾向にありました。</p> <p>○学習習慣・生活習慣 「毎日、同じくらの時刻に寝る・起きる」といった基本的な生活習慣が定着している生徒の割合は、全国平均を上回っている一方で、「普段1日1時間以上勉強する」や「家で計画を立てて勉強している」といった家庭学習の定着の面では、課題が見られる結果となりました。</p> <p>○自尊意識・規範意識等 「将来の夢や目標を持っている」や「人の役に立つ人間になりたいと思う」と感じている生徒の割合が、全国平均とほぼ同程度である一方で、「自分にはよいところがあると思う」という項目など、自尊感情の高い生徒の割合は低い傾向にありました。</p> <p>○地域社会 「地域や社会をよくするために考えることがある」と考えている生徒の割合は、全国平均とほぼ同程度であるのに対して、「ボランティア活動に参加したことがある」など実際の活動には結びついていない傾向にあることがわかりました。</p>

(3) 学力向上に係る今後の取組

「学力向上を目指した学校改善プラン」を作成し、受験を控えた3年生そして学校全体としての光陵中学校生徒の学力向上に向けた授業改善等の取組を次のとおり推進していきます。

<p>主に3年生に対する取組</p>	<p>○北海道公立高校入試問題の特徴や傾向を踏まえた指導方法の工夫 (国語) 目的に応じて資料を活用し、説得力のある話をする力をみる問題など、思考力・判断力・表現力をみる問題 (数学) 基礎的・基本的な知識や技能を活用して、判断したり、考察したことを表現する問題 (社会) 資料等を活用し、思考力・判断力・表現力等を問う融合問題や今日的な課題に関する問題 (理科) 問題を正確に読み取り、観察・実験の結果を分析して解釈する問題 (英語) 基礎的・基本的な知識や読解力に加え、英語で自分の考えを表現する問題</p> <p>○各種テストに向けた計画的な取組 ・効果的な家庭学習の定着 ・学力テストへの取組 (総合C: 11/8(木) 模試: 12/5(水)) ・定期テストへの取組 (2学期期末テスト: 11/15(木)~16(金) 3年学年末テスト: 1/18(金))</p> <p>○家庭との連携 ・進路希望調査の実施 (第1回: 9月 第2回: 10月 第3回: 11月) ・進路通信等における入試に関わる情報提供 ・保護者向け「入試に関する説明会」の開催 (10/26(金)) ・三者懇談の実施 (進路最終確認) (12/3(月)~7(金))</p> <p>※特に、進路希望先の最終決定や受験手続きには、家庭との連携が重要です。ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
<p>学校全体としての取組</p>	<p>○全国学力・学習状況調査結果の課題克服を意識した授業改善 (国語) ・多くの語句や文章に触れさせる授業展開の工夫 ・自分の考えを書いたり発表する場面の設定を継続した言語活動の充実</p> <p>(数学) ・基礎的な既習事項の反復練習を通じた補充学習への取組 ・学び合いや深め合いの場面を設定した授業展開の工夫</p> <p>○基礎・基本の定着を確実にするための取組 ・家庭学習や宿題の定着: 学年 (中1 = 7年生) × 10分 + 10分の発展実施 ・朝学習や授業中でのドリル学習の充実 ・「授業の約束」に基づく学習規律の再確認および定着 ・授業における「課題」「まとめ」の提示と「振り返る」活動の徹底 ・チャレンジテストの円滑な実施と年間計画への明確な位置付け</p> <p>○指導体制の充実 ・習熟度別授業や学習支援員配置等による指導体制の強化 ・期末テスト実施の該当月に「学力向上週間」を位置付けた全職員による指導の継続 ・学力向上に係る生徒会総務や各専門委員会による生徒の自治活動からの意識向上</p> <p>○家庭・地域との連携・協働の一層の充実 ・CSを活用した地域の方に授業や生徒の姿を直接見ていただき意見をいただく機会の設定 ・小中連携による「光陵中学校校区 5校学習の約束」や「乗り入れ授業」等の取組</p>